

令和5年8月31日

鳥取県知事定例記者会見

農林関係被害、公共土木関係被害いずれも過去20年で最大の被害 (合計234億円以上) ※8/30時点

◆ 農林施設関連 (被害額56億円)

<主な被害状況>

水田法面崩壊、農道の崩落、水路破損・閉塞、橋梁の流失等、
林道および林業専用道の路肩崩壊等

【農地・土地改良施設】 <<被害額28億円>>

⇒緊急的に機能回復が必要な施設について応急復旧を実施中

【林道・林業専用道】 <<被害額28億円>>

⇒地元住民の生活や森林整備等に利用される路線について、
緊急的に機能回復を図るための応急復旧工事を実施中



[林道の崩壊<鳥取市河原町赤井谷>]



[林道の崩落<三朝町福吉>]



[取水箇所崩落<鳥取市河内>]



[農道橋の流出<八頭町落岩>]



[JA・県職員による
土砂撤去作業]

◆ 農産物関連 (被害額1億円)

<主な被害状況> 果樹園への土砂流入、果樹棚及び樹体の損傷、
水田への土砂・流木等の流入、パイプハウスの倒壊等

⇒大消費地において「とっりのおいしい梨」、「元気な鳥取県」を発信するキャンペーンを展開

⇒JA、市、県職員による被災ナシ園の援農を実施し、出荷を開始

◆ 公共土木施設関係 (被害額 177億円) ※市町村管理施設含む

< 県施設の被害状況 >

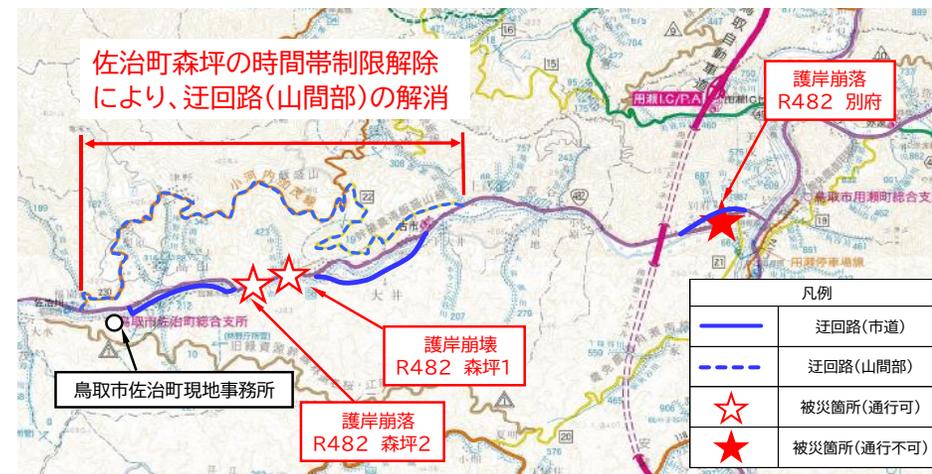
河川288件、砂防47件、道路103件、港湾4件
(8月30日時点)

* 交通規制：県管理36箇所、国管理6箇所

⇒ 現在の全面通行止め11箇所 (県管理)

【国道482号】

「佐治町福園(ふくぞの)～古市(ふるいち)」区間は、山間部の大規模迂回路を使用しなくても**9月1日(金)早朝より終日通行可能(片側交互通行)**にする予定。これにより、山間部への大規模迂回が解消し、大幅に移動時間の短縮が図れる。



◆ 復旧・復興本部

第3回目の災害復旧・復興本部会議を本日8月31日(木) 15:30から開催

◆ 補正予算の編成等

台風第7号や7月13日の大雨被害に係る本格復旧・復興対策について、9月議会提案に向けて編成作業中

予算規模は **総額200億円台半ばになる見込み** (うち専決35億円)

※風水害対策予算の規模としては過去最大 (これまでの最大は昭和62年台風第19号災害復旧予算の235億円)

防災対策研究会による災害対応方策の検討8/31～



- 台風7号はこれまでに経験したことのない被害をもたらした。
- 今後の災害に備え、専門家も交えて市町村と振り返り・検証し、対応方策を検討する。
⇒ **防災対策研究会**(防災対策について県と市町村で調査研究を行う場)等の場で総括・検討。

【第1回】8月31日(木)開催

- ・県防災アドバイザーの基調講演
- ・市町村と課題を共有し今後の方向性を検討

【第2回以降】

- ・専門家のアドバイスを受けながら、対策を検討
- ・地域防災計画等の改正につなげる

【主な検討内容】

- ・**孤立集落**の解消・住民支援 (道路・ライフライン早期復旧、情報提供、避難体制確保、備蓄、ヘリの活用など)
- ・**住民の避難行動促進**に向けた対策 (避難指示の出し方、マイ・タイムラインの促進、避難所体制など)
- ・**住民の生活復旧・復興支援**に向けた対策 (災害ケースマネジメント、要配慮者の見守り支援など)
- ・ダムの緊急放流については、県と市町村で専門的に検証

安心してください！温泉はいれますよ！

○観光需要喚起のため「元気な鳥取」の情報発信や宿泊割引等を実施！

- ・三朝町内宿泊者を対象に1,000円クーポン券配布 (9/5～)
- ・大手宿泊予約サイトによる宿泊割引を開始 (9/8～11/30)



○蟹取県ウェルカニキャンペーンや食パラダイス鳥取県を推進！

- ・蟹取県ウェルカニキャンペーン (9/1～)
- ・食パラダイス鳥取県梨プレゼントキャンペーン (9/1～)



台湾における知事トップセールス

台湾台中市との友好協定締結5周年式典出席、インバウンドに係るトップセールス、中国5県観光情報説明会

友好交流先の台中市政府を訪問し、協定締結5周年を祝う記念式典に出席（8/28）

- ・本県からは知事、県議会議員、児嶋祥悟団長ほか鳥取県日台親善協会代表団、北栄町長、三朝町長、琴浦町長ほか、台中市からは盧（ルー）市長ほか出席
- ・記念式典では台中市政府から平井知事へ名誉市民の称号を授与

⇒青少年交流等も含めた幅広い分野で今後もさらなる交流深化を図ることで合意。台中市とは10月に温泉を交えた民間交流が実施される予定



5周年記念儀式
(梨の木パネルへの梨のシール貼り)

台湾人観光客、定期便・チャーター便誘致に向け、航空会社等に働きかけを行うとともに、中国5県連携観光説明会を開催（8/28・29）

- ・中華航空やタイガーエア、スタートラベルの幹部と面談し、台湾から本県空港への台湾定期便・チャーター便誘致を働きかけ

⇒10/28,11/1,11/5に中華航空によるインバウンドチャーター就航決定（台北～鳥取）

⇒タイガーエア及びスタートラベル代表が路線就航の可能性を探るため、9月来県へ

- ・中国5県連携による観光情報説明会開催し、中国地方の観光魅力を発信

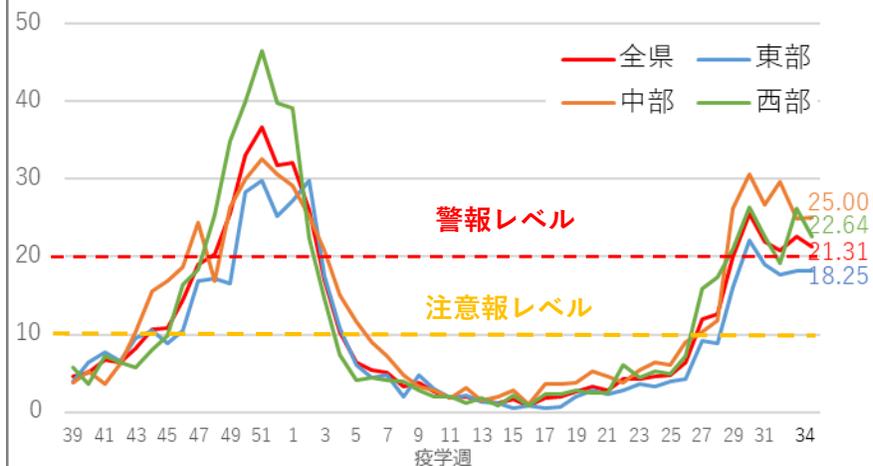


中華航空 李台北支社長との面談

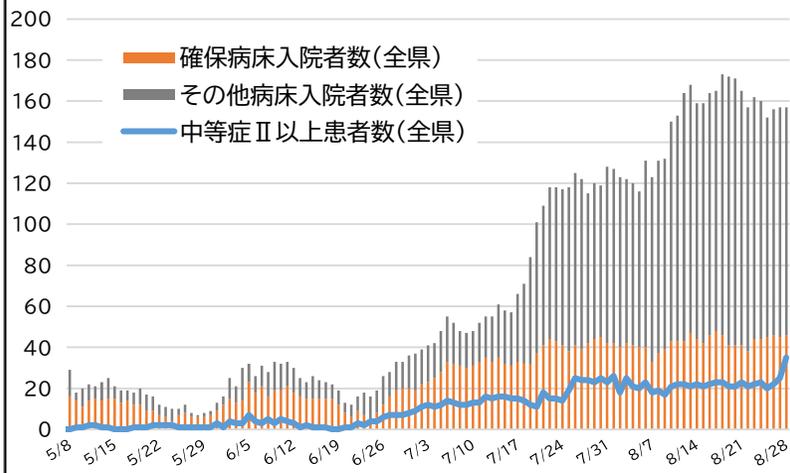
新型コロナの感染動向

- 週・定点あたりの患者数は、7月下旬をピークに高いレベルで横ばいの状況 → 全県で警報レベルを継続
- 入院患者の直近1週間は150~160人を推移、うち中等症Ⅱ以上の患者は35人(8/28現在)となり増加傾向 → 高齢者施設・医療機関の集団感染が続発しており、引き続き動向を注視
- ゲノム解析では、「XBB.1.16」が多くを占める一方、世界・全国で増加している「EG.5」が6月以降増加傾向 → 引き続きゲノムサーベイランスを実施

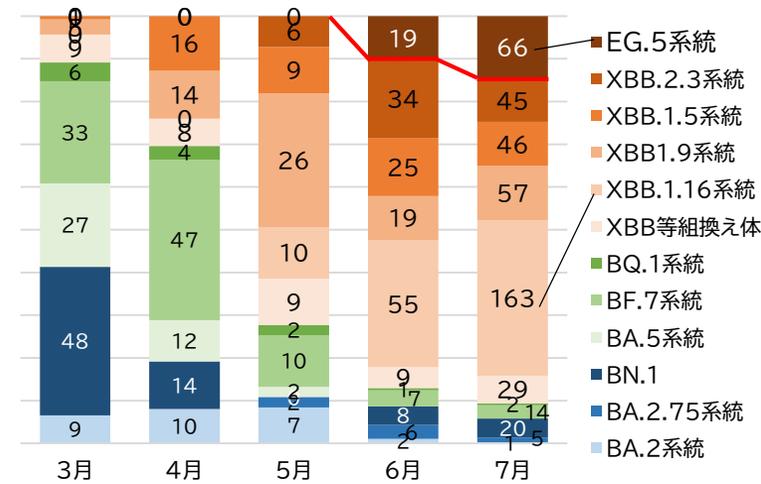
週・定点あたりの患者数



新型コロナ入院患者数及び中等症Ⅱ以上患者数



ゲノム解析結果



9/20以降のワクチン接種

- 9/20から、生後6か月以上で初回接種を終了した希望する全ての方を対象に、XBB対応ワクチンの接種開始
- 9/4~10月上旬に国から配分されるワクチンは全国2,400万回分、本県約11万回分 → 重症化リスクのある令和5年春開始接種者数(高齢者等約9.5万人)分はカバー
- 8/29全国知事会から国に対し、十分なワクチンの供給総量の早急な確保と、追加の配送スケジュールの提示等を緊急提言

【対象者】 初回接種を完了しており、前回の接種から3か月経過した生後6か月以上の全ての者
 ※接種の努力義務があるのは、65歳以上の高齢者及び基礎疾患を有する者のみ

【接種期間】 令和5年9月20日(水)から令和6年3月31日(日)まで(予定)

【ワクチン】 オミクロン株XBB1.5対応1価ワクチン ※接種費用無料、追加接種として1人1回接種

【国へ知事会提言】10月以降の入院受入体制等

8/30に全国知事会「新型コロナウイルス緊急対策本部役員会議」を開催し、“10月以降の入院患者受入体制及び公費支援の見直し”について国への提言を取りまとめ

【提言の主な内容】

- 病床確保を可能とする場合は、単価を早急に明示すること。確保に支障とならないよう単価を維持すること。
- 即応病床数や確保対象期間などを段階的に設定する場合は、都道府県の実情に応じた柔軟な対応を可能とすること。
- 治療薬の公費支援、医療機関・高齢者施設等への検査及び相談窓口機能に対する支援を継続すること。

西部Aコープ全店閉店に係る県・市町村・JA一体となった対応

JA鳥取西部の理事会決定事項(8/30)

- ◆ JA鳥取西部管内Aコープ(よどえ店、大高店、みぞくち店、名和店)については、今後の経営の継続は困難と判断し、令和6年1月末までに全店閉店する。
- ◆ 地域住民が買物に困らないよう、今後承継を希望する企業があれば交渉を行う。

◆県は市町村、JA鳥取西部と連携しながら、買物環境確保に向けた取組を進めていく

今後の対応方針

- 県緊急庁内情報連絡会議を開催(8/31)
- 買物環境確保推進交付金(予算額:1億円)活用
- 東中西部にわたり、市町とともに対策を検討

⇒地域の実情を踏まえ、市町が必要とするなら**買物環境確保策も提案**

○買物するための「**移動手段**」に注目した対策の提案

⇒移動販売、買物バスツアー、共助交通の充実など

○**地域住民等**が主体となった取組への支援

⇒地域スーパーの設置・運営、買物代行など



※これまで調整がなされた東中部の買物対応策:○共助交通による買物支援[鳥取市]

○買物バスツアー[八頭町・倉吉市]

○移動販売拡充[鳥取市]

○買物代行[倉吉市] 等

ふるさと応援休暇(素案)

従来、有給休暇等で活動を行っている職員の社会貢献活動(自治会、NPO等)を促進し、自治会等の担い手不足解消等のためにふるさと応援休暇(特別休暇)を創設に向け、勤務時間条例の改正を検討する。

<今後人事委員会と調整>

◆ 現在検討中の休暇制度 (案)

○休暇日数：年間5日程度

○主な活動内容

自治会(地域の生活環境維持や地域交流事業、情報伝達等)、防災福祉コミュニティ(防災訓練などの自主防災活動)

◆ 現在の本県の地域貢献活動状況

年度	R5(8/10現在)	R4	R3	R2	R1	H30
人数	965人	1,073人	1,096人	1,186人	1,333人	1,319人

【主な活動内容】自治会、PTA、消防団、清掃活動 等

地域に飛び出す公務員を応援する首長連合

「地域に飛び出す公務員」を応援するため、意を同じくする首長が発起人となって、平成23年3月に設立。

(平井・鳥取県知事 会長(H26.11~H30.11))

≪活動実績≫

➤ 営利企業等への従事の許可基準の考え方の線引きを「公務員の福業」ガイドラインで明示

※鳥取県庁では、当該ガイドラインの内容を踏まえ営利企業等従事許可やボランティア休暇等を活用し、職員が活動している。

≪本県での活動事例≫

要約筆記活動、手話通訳者、有害鳥獣駆除活動、交通安全指導員、スポーツ大会の審判員、農業等

県外企業(サテライト拠点)の立地決定

日野自動車株式会社(東京都日野市)



中国地方における中山間地域交通のオペレーション拠点の設置決定!!

自治体やNPO等からの運行管理及び地域交通コンサル等の受託により地域交通維持確保に貢献(今後、中国地方に展開!)
※智頭町では、R5.7.1から、自家用有償旅客運送の遠隔運行管理を受託開始(民間企業による全国初の取組!)

◆所在地 SANDBOX TOTTORI(鳥取市浜坂)内 令和5年9月中旬～ 雇用 4名

株式会社GEOソリューションズ(兵庫県西宮市)

ジオ

◆所在地 鳥取市賀露町(空きオフィス)
令和5年9月～ 雇用 3名



用途に応じたドローンの開発・加工拠点の設置決定!

⇒県はとっとり先駆型ラボ・誘致育成補助金で支援

「食パラダイス鳥取県」お食事券9/1～開始

9月1日～「食パラダイス鳥取県もっと地産地消月間」と連動して、飲食店を県民で応援することを目的とした「食パラダイス鳥取県」お食事クーポン券を9月1日より開始!

販売・利用:9月1日(金)～11月30日(木)

対象:新型コロナ安心対策認証店、感染症対策宣言店

販売価格: 5,500円券(5,000円で販売)

2,750円券(2,500円で販売)

(プレミアム率10%)

中国の水産物全面禁輸への当面の対応

相談窓口の設置

水産物・県産食品関係企業のご相談

県販路拡大・輸出促進課

0857-26-7832

輸出企業のご相談

県通商物流課

0857-26-7660

とっとり国際ビジネスセンター

0859-30-3161

影響を受けた企業への融資の発動

漁業者向け

漁業経営財務基盤強化資金、漁業経営安定資金

中小企業者向け

地域経済変動対策資金

「中国による日本水産物の輸入全面停止対策枠」**本日発動**

「あるくと健康！うごく元気！ キャンペーン(第2弾)」

西部犬猫センター着工へ

県民の健康意識の醸成等を図るため、「あるくと健康！うごく元気！キャンペーン」を開始します！
(9月1日～11月30日)

第2弾では、ねんりんピック公式キャラクター「あおや かみじろう」がアプリ内のマップ上に登場し、大会をPRします！
(9月8日～)

ウォーキングアプリ「aruku&(あるくと)」をスマホにダウンロードして歩くとポイントが貯まるほか、健診受診や禁煙などでもポイントを付与します。

【特典】

- ◆ 期間内に300ポイント以上を獲得した方の中から**抽選で500名に地元企業の協賛品をプレゼント**
マッサージチェア、三朝温泉旅館利用券、星空舞 等
- ◆ 1日6,000歩達成すると、**県内入浴施設で割引や入浴グッズ提供等の特典あり**(9施設)



➤ DBO方式による整備(県発注工事では初)

DBO方式:設計・施工・運営を一括発注し、民間事業者の提案を反映
皆生プレイパーク内、令和6年3月完成予定

【整備事業者】 西部犬猫センター整備運営業務共同事業体
(一社)アニマルパートナーあうん(米子市)等で構成

➤ 9月中旬から工事に着手

【施設の特長】

- 収容頭数の多い猫の譲渡を促進するため、猫展示室を設置
- 犬には飼養室から直接出られるドッグランと、雨天でも軽い運動ができるテラスを整備
- ZEB ready(省エネ基準)及びとっとりUD施設認証に適合
内装には県産木材を使用

【外観イメージ】



【施設内イメージ】



受付、猫展示室



犬飼養室

○動物の捕獲・収容・飼養業務に加え、飼い主への動物飼育の教育や専門家による収容動物の人馴れトレーニング、アニマルセラピーなどの事業を展開予定

9月12日は「とっとり県民の日」です！

明治14年に**現在の鳥取県が誕生した日**です。**ふるさと鳥取県のすばらしさを再発見**しましょう！

- 県内小中学校等の給食で地産地消メニューを提供(9/12前後)
- イオン鳥取北・日吉津でのイベント開催 (9/8～12)

9/8(金)～10(日)	イオン鳥取北	・県内の特産品や民工芸品の販売
9/9(土)～10(日)	イオン鳥取北・日吉津	・ステージイベント
9/8(金)～12(火)		・パネル展(鳥取県の歴史や魅力等)

- 県立施設等の無料開放・利用料割引(9/12ほか)
とっとり花回廊、なしっこ館、わらべ館、鳥取砂丘こどもの国など

- 鳥取県の歴史・人物・商品を紹介する企画展
県立図書館 (7/20～9/13)、公文書館 (9/1～19)

- 県内スーパーでのフェア (9/12前後) 計8社 54店舗
イオン、エスマート、サンマート、スーパーマルワ、東宝ストア、鳥取西部JAショップ(Aコープ)、フーズマーケットホック、マルイ



投票率低下防止等に向けた政治参画のあり方研究会の開催

投票率低下やなりて不足に歯止めをかけるなど、県民の政治参画促進策について、県・市町村共同で検討

第1回研究会

9月7日(木)

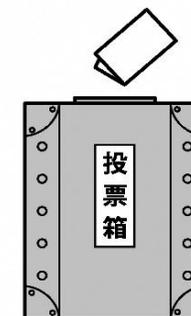
谷口 尚子 慶応義塾大学大学院教授
 河村 和徳 東北大学大学院准教授
 小島 勇人 選挙制度実務研究会理事長
 井上 昌之 (株)新日本海新聞社執行役員
 山下 美代子 米子市民生委員・児童委員
 山田 史子 鳥取中央育英高等学校教頭

- 年内を目途に報告書を取りまとめ予定

【検討内容】

- 投票率向上
- なり手不足解消
- 投票環境改善 など

- 研究会での議論を今後の施策に反映



鳥取地震から80年、9月10日に「とっとり防災フェスタ」を開催！

○地震に対する県民の防災・減災意識の向上を図ることを目的に開催。

○大規模地震を想定し、多くの実動機関参加による実践的な訓練、防災に関する展示・体験ブース、ステージイベントなど本格開催は4年ぶり。

○当日は、県東部全市町で訓練を連携して実施。

〔日時〕 9月10日(日)

〔場所〕 鳥取港、賀露港、わったいな・かにっこ館周辺、東部市町各地

〔内容〕 防災関係機関等による防災体験・展示・相談、救助訓練展示、自主防災組織表彰等

